

数理解析研究所講究録 1968

新しい変換群論の幾何

京都大学数理解析研究所

2015年11月

数理解析研究所講究録は、京都大学数理解析研究所の共同利用研究集会および共同研究の記録として1964年に刊行が開始されました。現在の共同利用・共同研究拠点（2010年発足）の前身である、全国共同利用研究所として当研究所が発足した翌年のことでしたが、以来半世紀、毎年数十巻を刊行し、2012年には第1800巻が刊行されるに至りました。第1巻から第1840巻までに収録された論文数は26,808編、総頁数は317,199頁という膨大なものであり、最先端の数学・数理科学分野の研究状況を伝えるのみならず、我が国の数学・数理科学の発展の歴史を留める文献として、他に類例を見ない論文集となっています。

講究録の内容は当研究所のウェブサイトおよび京都大学の学術情報リポジトリにおいても公開され、年間の総アクセス数は1,254,383回（2012年度）を数えるなど、多数の方にご利用いただいています。

講究録の使用言語は論文著者の判断に任されていますが、結果的に日本語が多用されていることが特徴の一つとなっています。その結果、講究録は、数学・数理科学の広い領域における最先端の専門知識に母国語でアクセスできるものとして、近年の英語化の流れの中で、重要な文献となりつつあります。

当研究所の共同利用事業に参加し講究録の論文を執筆していただいた多数の方々に対し、講究録を大きく成長させていただいたことを深く感謝いたしますとともに、これからも、当研究所の共同利用・共同研究拠点としての活動にご参加いただき、講究録の発展にご協力いただけますよう心よりお願い申し上げます。

RIMS Kôkyûroku 1968

New topics of transformation groups

May 25 ~28, 2015

edited by Tomohiro Kawakami

November, 2015

Research Institute for Mathematical Sciences

Kyoto University, Kyoto, Japan

This is a report of research done at the Research Institute for Mathematical Sciences, Kyoto University. The papers contained herein are in final form and will not be submitted for publication elsewhere.

新しい変換群論の幾何
New topics of transformation groups
RIMS 研究集会報告集

2015年5月25日～5月28日
研究代表者 川上 智博 (Tomohiro Kawakami)

目 次

1. デファイナブリー固有作用の軌道型の有限性について ----- 1
和歌山大・教育 (Wakayama U.) 川上 智博 (Tomohiro Kawakami)
2. On certain line degenerated torus curves and their dual curves ----- 7
東京理大・理学 (Tokyo U. Sci.) 川島 正行 (Masayuki Kawashima)
3. ON THE V -TRANSVERSALITY CONSTRUCTION OF
EQUIVARIANT FRAMED MAPS ----- 16
岡山大・自然科学 (Okayama U.) 森本 雅治 (Masaharu Morimoto)
4. AN ESTIMATE OF THE ISOVARIANT BORSUK-ULAM CONSTANT ----- 23
京都府立医大 (Kyoto Pref. U. Medicine) 長崎 生光 (Ikumitsu Nagasaki)
5. 代数群のコホモロジーと Sullivan の極小モデル ----- 29
東工大・理工学 (Tokyo Inst. Tech.) 糟谷 久矢 (Hisashi Kasuya)
6. Some mathematical aspects of topological materials ----- 35
名工大 (Nagoya Inst. Tech.) 南 範彦 (Norihiko Minami)
7. 一般のリー型のピーターソン多様体の同変コホモロジー環 ----- 41
McMaster U. 原田 芽ぐみ (Megumi Harada)
大阪市大・理学 (Osaka City U.) 堀口 達也 (Tatsuya Horiguchi)
" 栢田 幹也 (Mikiya Masuda)
8. TORUS MANIFOLDS AND FACE RINGS OF BUCHSBAUM POSETS ----- 46
大阪市大・理学 (Osaka City U.) Anton Ayzenberg
9. A remark on torus graph with root systems of type A ----- 55
東大・数理科学 (U. Tokyo) 黒木 慎太郎 (Shintarô Kuroki)

1 0.	ルート系と graph associahedrons の facet vectors との関係について	59
	大阪市大・理学 (Osaka City U.)	畑中 美帆 (Miho Hatanaka)
1 1.	Box complexes and Kronecker double coverings	66
	東大・数理科学 (U. Tokyo)	松下 尚弘 (Takahiro Matsushita)
1 2.	On the finite space with a finite group action	76
	獨協医科大 (Dokkyo Medical U.)	藤田 亮介 (Ryousuke Fujita)
1 3.	グラフの彩色数の変種とグラフから定まる複体の位相	81
	阪大・理学 (Osaka U.)	原 靖浩 (Yasuhiro Hara)
1 4.	非特異な扇と閉曲面の三角形分割	91
	大阪市大・理学 (Osaka City U.)	須山 雄介 (Yusuke Suyama)
1 5.	弱順序極小構造上での定義可能な関数について	98
	近畿大・工 (Kinki U.)	田中 広志 (Hiroshi Tanaka)
1 6.	位相的トーリック多様体上の直線束の切断のなす空間に関して	104
	大阪市大・理学 (Osaka City U.)	鎌田 英也 (Hideya Kuwata)
1 7.	On orientations of fixed point sets of spin structure preserving involutions on manifolds	113
	摂南大・学習支援センター (Setsunan U.)	永見 誠二 (Seiji Nagami)
1 8.	On the Andreadakis conjecture of the automorphism groups of free groups	117
	東京理大・理 (Tokyo U. Sci.)	佐藤 隆夫 (Takao Satoh)
1 9.	Note on the space of polynomials with roots of bounded multiplicity	126
	電通大・情報理工学 (UEC)	山口 耕平 (Kohhei Yamaguchi)